

リサーチ！ プロセスを魅せるデザイン展

Research! Design with Fascinating Processes



ATELIER MUJI | GINZA Gallery 1・Gallery 2

©ATELIER MUJI GINZA

「リサーチ！ プロセスを魅せるデザイン」展

会期：2022年7月1日（金） - 8月28日（日） 11:00 - 21:00 *休館は店舗に準じます

会場：ATELIER MUJI GINZA Gallery1・2（無印良品 銀座 6F）

入場無料

ATELIER MUJI GINZA（東京都中央区 / 無印良品 銀座店内）は、2022年7月1日（金）から8月28日（日）まで、ATELIER MUJI GINZA Gallery1・2にて「リサーチ！ プロセスを魅せるデザイン」展を開催いたします。

生活を取り巻くあまたのものたち。

その物が並び売られるテーブルを覗きながら私たちは、好きなもの、美しいもの、便利なものなど、使い手の視点からものを選び生活に採り入れています。でももし、一つ一つのもものが、その背景にあるリサーチとプロセスを語りはじめたら？ 私たちは何に気づき、生活はどのように変わるのでしょうか？

オランダ、アイントホーフェンにある「デザイン・アカデミー・アイントホーフェン」（DAE）は、従来の「デザイン」の概念を覆す現代的なコンセプトと思考方法を育むユニークなプログラムで知られるデザイン教育機関です。これまでのモノづくりの流れに大きな変化をもたらすクリエイターたちを世に送り出し注目を集めています。では、その新しい「デザイン」とはいったいどのようなものなのでしょうか？

本展では、リサーチをかたちにする先駆的なデザイナーとして知られる、クリスティン・メンデルツマをはじめ、今、国際的な注目を集める若手、シモン・バジェン・ボテロ、簗島さとみ+ポリン・アグストーニ、DAE 出身の3組の作品を通して、新たなデザインの地平線を視覚化します。彼らに共通するのは、現代にさらにもものを生み出すことへの根本的な問い、徹底したリサーチ、そしてプロセスそのものまでも作品とする手法です。3組それぞれのリサーチとプロセスで魅せる作品は、私たちの好奇心を「もの」の背景にある物事へと向かわせ、これまでシンプルな「使い手」として見てきた日常的なものの風景や感性、美の意識までを一変させる力を持っているのではないのでしょうか。

*デザイン・アカデミー・アイントホーフェン（DAE）：オランダ、アイントホーフェンで70年以上にわたりデザイン教育の先端を担う教育機関。素材、社会、環境、そして批評のイノベーションの道具としてのデザインを探索。意欲的なデザイナーを多数輩出し世界的に注目されている。

【展示内容・デザイナーについて】



PIG 05049 (2007)、クリスティン・メンデルツマ
Credit: Julie Joliat (graphic designer)



photo: Vincent Mentzel

クリスティン・メンデルツマ

Christien Meindertsma (1980、オランダ)

ローカルな資源と生産へのこだわり、また工業化によって遠ざかったプロセスを徹底したリサーチと記録で明らかにする作品を発表し、デザイン界に衝撃を与えたメンデルツマ。「05049」とナンバリングされた一頭の豚から生産されるすべての製品を、3年を費やし調べ上げまとめた作品集など、彼女の名を知らしめた2冊の本と椅子のプロジェクトを紹介する。ロッテルダム（オランダ）を拠点に活動。

christienmeindertsma.com



左: Craft Portrait: Dorozome (2020)、簀島さとみ+ポリン・アグストーニ、インスタレーションのディテール Photo: Yuta Sawamura
右: 染めた反物を洗う簀島さとみ Photo: Pauline Agustoni



簀島さとみ (1989、日本)

+ ポリン・アグストーニ (1996、スイス)

2人はDAE在学中に会い、その後共同で、奄美大島の伝統工芸である泥染めの現地リサーチと体験を経てかたちにしたインスタレーションが 'Craft Portrait: Dorozome' である。簀島はアイントホーフェン(オランダ)、アグストーニはベルリン(ドイツ)を拠点に活動。現在 'Craft Portrait' 2作目を製作中。

satomiminishima.com

paulineagustoni.com



左: 「スエロ・オルフェブレ」試作の数々 Photo: Femke Rijerman
中: コロンビア、マルマト金鉱の入口。この金鉱から出る廃棄物を利用した作品が「スエロ・オルフェブレ」。Photo: Simón Ballen Botero
右: レンガを組んだ型に職人がガラスを吹く Photo: Elizabeth Arce



シモン・バジェン・ボテロ

Simón Ballen Botero (1992、コロンビア)

デザインを議論やエンパワーメントのツールとして用い、プロジェクトごとに異なる職人、技術者、コミュニティと協働するバジェンが、コロンビアの金鉱の廃材を再利用しガラスのオブジェを生み出した持続可能なプロジェクトが 'Suelo Orfebre'。アムステルダム（オランダ）とメデリン（コロンビア）を拠点に活動。

simonballen.com

【空間構成】

吉行良平

DAEを卒業後オランダでのデザイン事務所を経て、大阪に「吉行良平と仕事」を設立。日用品の設計を中心に、手を動かし実験、検証を重ね、あるべき色、形を探る。

※ DAE 卒業の出展者と共にトークイベントにも参加予定。 www.ry-to-job.com

【関連イベント】会期中は、出展作家らのトークセッションやワークショップなども開催予定

デザイン・アカデミー・アイントホーフェン (DAE) の驚きの講義についてのトーク、また、建築家で DAE のクリエイティブ・ディレクターのジョセフ・グリマさんと、デザイナーであり、日本のデザイン教育に取り組む、多摩美術大学 統合デザイン学科長の深澤直人さんを招き、デザイン教育のこれからを解き明かします (詳細はリリース P3 にて)。

イベント詳細 >> https://atelier.muji.com/jp/exhibition_list/4762/

【展覧会概要】

タイトル | 「リサーチ！ プロセスを魅せるデザイン」展

会期 | 2022年7月1日(金) - 8月28日(日) 11:00 - 21:00 ※休館は店舗に準じます。

会場 | 無印良品 銀座 6F ATELIER MUJI GINZA Gallery1・2 入場無料

主催 | 株式会社良品計画

協力 | オランダ王国大使館、デザイン・アカデミー・アイントホーフェン、KANAIKOUGEI (金井工芸)

後援 | コロンビア共和国大使館

イラストレーション | 簀島さとみ グラフィックデザイン | 株式会社 SARAVAH design

空間構成 | 吉行良平 施工 | HIGURE 17-15 cas

キュレーション | 田代かおる

※会期や時間などの予定変更、またはイベント等によって展示品の一部がご覧頂けない日時が発生する場合がございます。

ATELIER MUJI GINZA 公式サイト

<https://atelier.muji.com/jp/>

I.G. @ateliermuji_ginza

Twitter @ateliermuji

PRESS CONTACT

このニュースに関するご質問、取材や掲載のご希望がございましたらプレス担当までお問い合わせください。

竹形尚子 (デイリープレス)

Tel. 03-6416-3201 / 090-1531-6268

naotakegata@dailypress.org

- オンライントークイベント開催決定 -

「オランダと日本をつなぐ、これからのデザインのはなし。」

日時：7月11日(月) 19:00～

登壇者：深澤直人（デザイナー、多摩美術大学 統合デザイン学科長・教授）

ジョセフ・グリマ（建築家、DAE Creative Director）

※日本語 / 英語逐次通訳あり

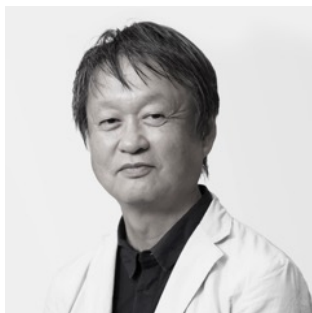
※詳細については随時、ATELIER MUJI GINZA 公式サイトや SNS でお知らせします。

※オンライン配信を予定しています。予約方法、配信方法については決定次第ご連絡いたします。

『リサーチ！ プロセスを魅せるデザイン』展に出展する3組のデザイナーの出身校＜Design Academy Eindhoven (DAE) ＞は、独自のデザイン教育で世界的に注目されるオランダの芸術教育機関です。

DAEの先進性とは何なのか？従来のデザインスクールとは何が違うのか？デザイナーとして知られ、多摩美術大学統合デザイン学科長の深澤直人氏と、建築家でDAEクリエイティブディレクターのジョセフ・グリマ氏が、これからのデザイン・建築のビジョン、そして教育について、自身のプロジェクトの話題を交えて語り合います。

【登壇者プロフィール】



深澤直人

プロダクトデザイナー 卓越した造形美とシンプルに徹したデザインで、国際的な業のデザインを多数手がける。英国王室芸術協会の称号を授与されるなど受賞歴多数。2018年、「イサム・ノグチ賞」を受賞。多摩美術大学教授。日本民藝館館長。



ジョセフ・グリマ Joseph Grima

建築、テクノロジー、政治、公共空間の交差領域で活動するデザインリサーチスタジオ、Space Caviar（イタリア・ジェノバ）の創設者。デザインと建築の分野で、キュレーター、編集者、ライターとして国際的に豊富な経験を持つ。2003年 Architectural Association（AAスクール）卒業。DAEクリエイティブ・ディレクター。